

令和 7 年度上伊那圏地域自立支援協議会議事録		
会議	令和 7 年度 精神障がい者等 部会名 地域生活部会 高校出前講座	第 1 回:令和 7 年 6 月 16 日(月) 13:45 ~ 15:35 日 時 :令和 7 年 6 月 20 日(金) 12:45 ~ 14:35
	会場 高遠高等学校	参加者数 26 人(各回 13 名)
主 テ ー マ	心の健康の大切さや精神保健福祉について、高校生に身近な問題として考えてもらう	
	参加者:高遠高等学校普通科生徒 2 年生(26名)、先生(1名)、講師(当事者5名)、スタッフ(部会員 4 名、事務局 5 名、地区保健師2名) 4 グループに分かれて行う。(1グループ:生徒 3~4 名、当事者1名、スタッフ1~2 名) 内容:ゲーム「ヘリウムリングワーク」 当事者のリアルに触れるワーク「その人のことを知る」 ・地域での暮らしや生活の様子、こんな支援やサポートを受けてきた経験談について、当事者の方の話を聞く。 ・各支援者より、どんな仕事をしているか高校生に対し紹介する。 ○生徒からの感想 ・友達に助けてもらったり、他の人に頼ってもいいと感じた。 ・自分のことを伝えたり、人の気持ちを大事にしていきたい。 ・自分にされて嬉しかったことを、誰かに返したい。 ・前回とは違う意見が聞けてよかった。保健師という仕事について聞けてよかった。 ・心に響いた。最初のゲームでは、みんなで声を掛け合って、協力する大切さを知ることができた。 ・みんなそれぞれの考えをもっているから、それを尊重することが大切だと感じた。 ○当事者からの感想 ・障がい有無関係なく、「同じ人」としてチームワークのゲームを楽しめたことが嬉しく、また心が温かくなった。 ・2 回目の学生ということで新鮮な感じもありながら、より深入りした話をするのが出来て良かった。 ・自分の障がいのこと、病気のことを気楽に話すことができた。	
ま と め	人に伝えることの大切さ、困っている人に出会った時に手を差し伸べること、その人のことを知ることで理解できることを学んだ。 高校生との会話の中でお互いを思いやる気持ちがあり、やり取りの中で心を動かされた。	
次回		